

# 国家試験免除 航空特殊無線技士【航空特】養成課程 eラーニング募集案内

弊社は総務省東海総合通信局の認定を受け、eラーニングによる航空特殊無線養成課程の受講者を通年、常時募集しております。

## 1. この養成課程の概要

無線従事者養成課程は、「規定のカリキュラムをすべて受講し、修了試験に合格すると国家試験合格と同等の扱いとなり、無線従事者免許が受けられる制度」です。この養成課程eラーニングは、インターネット接続可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等で全受講を行うことができ、時間があるときに基礎から学ぶことができます(少しの時間でも可能です)。

また、受講を完了した後の修了試験(法規・無線工学)はCBT方式により全国 300 箇所以上の試験センターで受験が可能です。**ただし、修了試験(電気通信術)については実地試験を東京又は名古屋で受験していただきます。**

修了試験の全科目に合格されますと、管轄の東海総合通信局に免許申請を行い、公布された免許証を郵送するまでを弊社で行います(資格は全国で有効です)。

また、無線設備の操作の用途とは異なりますが、アマチュア無線技士を除く無線従事者資格の取得者は、その資格により甲種消防設備士(特類を除く)の受験が可能です。

**当該養成課程はどなたでも受講可能です。**

・受講開始から免許証受領までの流れ(イメージ)



## 2. 航空特殊無線技士の資格操作範囲について

「航空特殊無線技士」の資格によって操作できるのは次の範囲です。

航空機(航空運送事業の用に供する航空機を除く。)に施設する無線設備及び航空局(航空交通管制の用に供するものを除く。)の無線設備で次に掲げるものの国内通信のための通信操作(モールス符号による通信操作を除く。)並びにこれらの無線設備(多重無線設備を除く。)の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作

- (1) 空中線電力 50 ワット以下の無線設備で 25,010 キロヘルツ以上の周波数の電波を使用するもの
- (2) 航空交通管制用トランスポンダで(1)に掲げるもの以外のもの
- (3) レーダーで(1)に掲げるもの以外のもの

### 航空特殊無線技士で操作可能な設備等の例(次の操作が可能です)

- ・航空機局(航空運送事業の用に供する航空機を除く)・・・警察・消防等の官公庁関連、報道・測量等の航空機使用事業関連の小型航空機の無線局の運用(国内)、自家用飛行機の無線局の運用(国内)
- ・航空局(航空交通管制の用に供するものを除く)・・・上記の航空機局との運航管理通信(国内)

## 3. 養成課程の受講資格

当該養成課程は公募型養成課程(弊社が主催・募集)とし、受講資格要件は次の(1)及び(2)の条件を満たす方です。

(1) 修了試験の受験時に必要な、次のいずれかの「身分証明書(写真付き)」を所持しており、修了試験会場で提示可能な方

- ・運転免許証                      ・小型船舶操縦免許証                      ・パスポート
- ・写真付き住民基本台帳カード
- ・個人番号カード(マイナンバーカード。表面のみを参照して使用します。)
- ・無線従事者免許証(ただし、免許の年月日又は交付年月日(再交付の年月日を含む)から10年以内のものに限る。)
- ・工事担任者資格者証(同上)                      ・運転経歴証明書(同上)
- ・電気通信主任技術者資格者証(ただし、免許の年月日又は交付年月日(再交付の年月日を含む)から10年以内のものに限る。)
- ・危険物取扱者免状(写真の有効期間内のもの)                      ・消防設備士免状(同左)
- ・在留カード(写真付き。日本国政府発行のもので有効期間内のものに限る。)
- ・特別永住者証明書(同上)
- ・学生証・生徒証(写真付きに限る)及び保険証
- ・学生証・生徒証(写真付きに限る)及び住民票

(2)(A) 次の①～③のいずれかに該当する方で、で、インターネット接続が可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等が利用可能であり、インターネット接続のスキルを有し、受講期間中に電気通信術の課題提出(※)が可能であり、かつ受講申込時に(B)及び(C)の事項にいずれも該当しない方。

※受話を行った用紙についてはその画像ファイル(ファイル形式は jpg)、送話を行った音声についてはその録音の音声ファイル(ファイル形式は mp3 又は m4a)各2つ提出できること。

- (B)電波法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない方
- (C)当該資格 航空特殊無線技士(旧資格 特殊無線技士(無線電話丙)を含む)を既取得の方

#### 4. 養成課程の受講期間、標準的な受講期間

受講者の受講開始日から修了試験(追試験を含む)の合格日までは9ヶ月以内です。ただし、受講開始日から8ヶ月以内に受講を完了させていただきます。尚、全受講を完了されないと修了試験を受けることができません。期間内に受講を完了されない場合は失格となり免許が得られなくなります。また、修了試験不合格の場合は、規定の再受講の完了後に一度のみ、追試験が受けられます。(要追試験料)

#### 5. 養成課程の授業科目及び授業時間(規定時間数による)

養成課程の資格	授業科目	授業時間
航空特殊無線技士	無線工学	5時間
	法規	11時間
	電気通信術	2時間

#### 6. 養成課程の受講に必要なシステム

養成課程の受講は、eラーニングのシステムを使います。eラーニングに必要なシステムは次の通りです。

- (1)利用可能なインターネット回線(有線LAN、無線LAN等)
- (2)インターネット接続が可能で、ブラウザソフトによるホームページ閲覧が可能であり、電子メールの送信・受信が可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等の通信端末

※電子メールアドレスがeラーニングの受講IDとなるため、電子メールアドレスがないと受講できません。また、受講には1名様毎に異なる電子メールアドレスが必要です。お申込みいただく際の申込書には、受講者本人のみが使用する電子メールアドレスを必ず記載してください(スマートフォンのアドレスも可ですが、PCからのメールが受信できないと受講いただけません)。

- (3)電気通信術において必要となる、スピーカー、ヘッドフォン等の音声の再生環境、及び音声の録音に必要なマイク、その他筆記用具

※このeラーニングでは、【法規・無線工学】はオンラインのテキストのみのご提供となります。【電気通信術】は課題提出がありますので印刷版をご提供します。

#### 7. 受講申込・受付・受講開始・必要書類送付まで

- (1)受講のお申し込みは、弊社ホームページから必要事項をご入力ください。

あらかじめ弊社(PC)からの電子メール(@b-tec.jp)が受信できる設定にしておいてください。

- (2)申込内容をご確認させていただき、請求のご連絡をさせていただきます。

※お申込の受付処理は平日9:30~18:00となります。

(3)お振り込みが確認できましたら、eラーニングの受講 ID を発行し、受講ガイドを送付させていただきます。  
eラーニングの受講 ID 等は電子メールにて通知させていただきますので、受信次第、受講を開始してください。

(4)(3)の到着後、下記の書類を弊社に郵送いただきます。

- ・証明写真(同じもの2枚分 縦 3cm×横 2.4cm )
- ・記入済の無線従事者免許申請書、及び申請に必要な書類(住民票等)

8. 受講中の質問、問い合わせ等の対応

ご質問は弊社担当まで電子メールにてお送りください。電子メールにて回答させていただきます。

9. 受講完了から修了試験受験まで

eラーニングによる受講開始後、電気通信術の提出課題に合格され、eラーニングの全受講を完了し、受講完了条件を満たされた方は、修了試験受験を希望する旨を弊社にご連絡いただきます。弊社で受講完了が確認された場合は、CBT の修了試験【法規・無線工学】予約用のチケット番号をご連絡いたします。

CBT の修了試験を受験される方は、予約前に(株)シー・ビー・ティ・ソリューションズ(CBTS)にユーザー登録を済ませていただき、システムにログインの上、会場並びに日時選択による受験予約を行っていただきます。<https://cbt-s.com/index.html>

受験予約を変更される場合は、必ず事前に CBTS のシステムで予約変更処理を行っていただきます。

(予約変更なく試験を欠席された場合は不合格となります。)

特に(諸事情で)、筆記による修了試験を希望される場合は、会場は名古屋市、東京都、横浜市の3会場のみとなります。筆記試験の手配等は事前調整が必要になるため相談の上、個別対応とさせていただきます。

また、【電気通信術】の修了試験は上記と異なり、東京・名古屋の実地(11b 参照)で受験していただきます。受験日時は、受講者様のご希望の日を元に、受講者様と弊社で調整の上、決定させていただきます。

10. 修了試験会場における身分証明書確認について

受講者本人以外の受験防止のため、【法規・無線工学】及び【電気通信術】の修了試験会場では、当日、3.(1)の身分証明書の現物を確認させていただきます。

11a. CBTの修了試験【法規・無線工学】会場について

試験会場は、全国 300 箇所以上となります。詳細は、次のサイトをご参照ください。

<https://www.cbt-s.com/examinee/testcenter/>

※こちらのリンクにアクセスし、右上の「試験会場空席照会」をクリックし、試験選択で「特殊無線技士」を選択してください。表示された試験名で「SRB-08 航空特殊無線技士養成課程の修了試験」を選択し、会場の条件、日程を選択すると、試験実施の状況を見ることができます。

11b. 修了試験【電気通信術】会場について

【電気通信術】の試験会場は、弊社の本社及び東京営業所となります。

いずれの会場も受験日時は(土・日・祝日も含め)調整の上、決定とさせていただきます。

- ①会場(名古屋市) 最寄り駅:名古屋市営地下鉄 塩釜口駅  
株式会社ベータテック 本社  
住所:愛知県名古屋市天白区植田西2-110-1
- ②会場(東京都) 最寄り駅:JR東日本等 日暮里駅  
株式会社ベータテック 東京営業所《エースライオン(株)の社屋内》  
住所:東京都荒川区東日暮里5-34-2

12. 修了試験の受験科目及び試験時間、合格基準(電波法関係の告示による)

養成課程の資格	試験科目	試験時間	合格基準
航空特殊無線技士	無線工学	45分	ともに 60点以上/100点満点
	法規	45分	
	電気通信術 (欧文通話表による 受話及び送話)	受話・送話とも 2分間(計100字)	受話・送話とも 100点満点から減点方式で採点し、80点以上

※修了試験【法規・無線工学】では、受講した内容の中から問題が出題されます。

※修了試験【法規・無線工学】は、選択式の問題が出題されます。

※問題数は無線工学:10問、法規:10問です。

13. 修了試験に不合格となった場合

修了試験【法規・無線工学】に不合格となった場合は、規定による再受講を行っていただき、再受講が完了していれば、修了追試験が受験できます(有料)。

※修了試験が不合格の場合、受講者は1回のみ修了追試験を受験することができます(ただし、修了追試験の受験・合格も受講期間内に行なわなければなりません。)

また、修了試験【電気通信術】に不合格となった場合は、後日、課題を再提出していただき、その合格後、受講者様と弊社で日時を調整の上、追試験を受験していただきます。

14. 修了試験又は修了追試験合格後、免許証交付まで

受講期間内に修了試験、又は修了追試験に合格された場合は、弊社から管轄の東海総合通信局に免許申請を提出いたします。

免許証が交付されるまではおよそ6週間を要します。免許証は弊社から送付させていただきます。

15. 受講期間内に修了できなかった場合

受講期間以内に受講完了及び修了試験合格ができなかった場合は失格となり、免許が受けられなくなります。失格後は弊社の規定により、新たな期間(正規の受講期間以内)で再受講いただくことが可能です(要追加費用)。また、失格後、再受講をされない場合は、受講料のうち未使用分の金額をご返金させていただきます。追加料金による再受講、及び失格後のご返金の金額は、失格後に受講者様あてにご連絡させていただきます。ただし、追加料金及びご返金は失格の日から1ヶ月以内の申し出に限り有効となります。

16. 受講料等

28,425 円(税込)

※受講料には、修了試験代(【法規・無線工学】【電気通信術】各1回分)、無線従事者免許申請の印紙代を含みます。

※修了試験不合格の方は、別途 修了追試験受験料がかかります。

【法規・無線工学】不合格の方 4,950 円(税込) 【電気通信術】不合格の方 7,700 円(税込)

※過去に、弊社の養成課程(eラーニング又は講習会)を受講された方(失格の場合を除く)は、申込フォームに記載いただくと事務手数料 2,200 円(税込)を割引きます【複数資格の場合はいずれか1つのみを割引適用いたします】。

17. お申込み・問い合わせ先

・申込フォーム [https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/sky\\_regist.html](https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/sky_regist.html)

お問い合わせは、株式会社ベータテック 航空特eラーニング担当まで お願いいたします。

電子メール koku(at)b-tec.jp 電話番号(養成課程担当) 052-893-9935

※電子メールおよび電話でのお問い合わせのご対応は平日9:30~18:00となります。

※迷惑メール防止の対策をしております。(at)の部分を@に変更の上、お送りください。

【MEMO】



## 18. 電気通信術で使用する欧文通話表(参考)

(詳細はeラーニングお申込み後にご案内いたします)

禁複製 作成 (株)ベータテック

アルファベット	使用する語	使用する語の発音
<b>A</b>	<b>ALFA</b>	アルファ
<b>B</b>	<b>BRAVO</b>	ブラーヴォウ
<b>C</b>	<b>CHARLIE</b>	チャーリー (又は シャーリー)
<b>D</b>	<b>DELTA</b>	デルタ
<b>E</b>	<b>ECHO</b>	エコー
<b>F</b>	<b>FOXTROT</b>	フォクストロット
<b>G</b>	<b>GOLF</b>	ゴルフ
<b>H</b>	<b>HOTEL</b>	ホウテール
<b>I</b>	<b>INDIA</b>	インディア
<b>J</b>	<b>JULIETT</b>	ジュリエット
<b>K</b>	<b>KILO</b>	キーロー
<b>L</b>	<b>LIMA</b>	リーマー
<b>M</b>	<b>MIKE</b>	マイク
<b>N</b>	<b>NOVEMBER</b>	ノウヴェンバ
<b>O</b>	<b>OSCAR</b>	オスカー
<b>P</b>	<b>PAPA</b>	パパー
<b>Q</b>	<b>QUEBEC</b>	ケベック
<b>R</b>	<b>ROMEO</b>	ロウミオウ
<b>S</b>	<b>SIERRA</b>	スイエラー
<b>T</b>	<b>TANGO</b>	タンゴウ
<b>U</b>	<b>UNIFORM</b>	ユニフォーム (又は ウーニフォーム)
<b>V</b>	<b>VICTOR</b>	ヴィクター
<b>W</b>	<b>WHISKEY</b>	ウィスキー
<b>X</b>	<b>X-RAY</b>	エクスレイ
<b>Y</b>	<b>YANKEE</b>	ヤンキー
<b>Z</b>	<b>ZULU</b>	ズールー

以上